

競 技 順 序 《トラック競技》

順序	競技開始時刻	種 別	性別	種 目	区分	組 - 着	招集開始時刻	招集完了時刻
1	9:00	パラスポーツ大会	男女	50m(車いす)	決勝	1組 男1名:女2名	8:20	8:30
2	9:05	パラスポーツ大会	男子	50m	決勝	4組 18名	8:25	8:35
3	9:25	パラスポーツ大会	女子	50m	決勝	2組 9名	8:45	8:55
4	9:35	パラスポーツ大会	男女	100m(車いす)	決勝	2組 男4名:女3名	8:55	9:05
5	9:45	パラスポーツ大会	男子	100m	決勝	4組 22名	9:05	9:15
6	10:00	パラスポーツ大会	女子	100m	決勝	1組 6名	9:20	9:30
7	10:05	県民スポーツ大会	女子	100m	予選	(3組-ベスト8) 23名	9:25	9:35
8	10:15	県民スポーツ大会	男子	18~29歳 100m	予選	(4組-ベスト8) 30名	9:35	9:45
9	10:25	県民スポーツ大会	男子	30~39歳 100m	予選	(3組-ベスト8) 22名	9:45	9:55
10	10:35	県民スポーツ大会	男子	40~49歳 100m	予選	(4組-ベスト8) 29名	9:55	10:05
11	10:45	県民スポーツ大会	男子	50~59歳 100m	予選	(4組-ベスト8) 28名	10:05	10:15
12	11:00	県民スポーツ大会	男子	60歳以上 100m	予選	(3組-ベスト8) 27名	10:20	10:30
13	11:10	県民スポーツ大会	男子	5000m	決勝	1組 42名	10:30	10:40
14	11:10	パラスポーツ大会	男子	5000m	決勝	1組 2名	10:30	10:40
15	11:35	パラスポーツ大会	男女	400m	決勝	2組 男4名:女3名	10:55	11:05
16	11:45	県民スポーツ大会	男子	4×100mR	予選	(2組-ベスト8) 13名	11:05	11:15
17	11:55	県民スポーツ大会	男子	40歳以上 3000m	決勝	1組 39名	11:15	11:25
18	12:15	パラスポーツ大会	男女	800m	決勝	3組 男12名:女6名	11:35	11:45
19	12:30	パラスポーツ大会	男女	スラローム競技	決勝	6組 男6名:女6名	11:50	12:00
20	12:30	県民スポーツ大会	男子	200m	予選	(4組-ベスト8) 32名	11:50	12:00
21	12:50	パラスポーツ大会	男女	200m(車いす)	決勝	1組 男1名:女1名	12:10	12:20
22	12:55	パラスポーツ大会	男女	200m	決勝	4組 男11名:女9名	12:15	12:25
23	13:15	県民スポーツ大会	女子	1000m	決勝	1組 31名	12:35	12:45
24	13:25	パラスポーツ大会	男子	1500m(車いす)	決勝	1組 3名	12:45	12:55
25	13:35	パラスポーツ大会	男子	1500m	決勝	1組 男9名	12:55	13:05
26	13:35	パラスポーツ大会	女子	1500m	決勝	1組 女1名	12:55	13:05
27	13:50	県民スポーツ大会	女子	100m	決勝	1組 8名	13:10	13:20
28	13:55	県民スポーツ大会	男子	18~29歳 100m	決勝	1組 8名	13:15	13:25
29	14:00	県民スポーツ大会	男子	30~39歳 100m	決勝	1組 8名	13:20	13:30
30	14:05	県民スポーツ大会	男子	40~49歳 100m	決勝	1組 8名	13:25	13:35
31	14:10	県民スポーツ大会	男子	50~59歳 100m	決勝	1組 8名	13:30	13:40
32	14:15	県民スポーツ大会	男子	60歳以上 100m	決勝	1組 8名	13:35	13:45
33	14:20	県民スポーツ大会	男子	200m	決勝	1組 8名	13:40	13:50
34	14:30	県民スポーツ大会	男子	1500m	決勝	2組タイムレース 43名	13:50	14:00
35	14:50	県民スポーツ大会	女子	4×100mR	決勝	1組 8	14:10	14:20
36	14:50	パラスポーツ大会	男女混合	4×100mR	決勝	オープン 1	14:10	14:20
37	15:00	県民スポーツ大会	男子	4×100mR	決勝	1組 8	14:20	14:30

※ パラスポーツ大会 スラロームはバック走路で行う

《 跳 躍 競 技 》

順序	競技開始時刻	種 別	性別	種 目	区分	エントリー数	招集開始時刻	招集完了時刻
1	9:00	県民スポーツ大会	女子	走幅跳	決勝	17名	8:20	8:30
2	9:00	パラスポーツ大会	男子	走幅跳	決勝	1名 男1名	8:20	8:30
3	11:30	県民スポーツ大会	男子	30歳以上 走幅跳	決勝	23名	10:50	11:00
4	13:30	パラスポーツ大会	男子	立幅跳	決勝	4名	12:50	13:00
5	14:00	県民スポーツ大会	男子	18～29歳 三段跳	決勝	13名	13:20	13:30

《 跳 躍 競 技 》

1	9:30	県民スポーツ大会	男子	走高跳	決勝	19名	8:50	9:00
2	12:00	県民スポーツ大会	女子	走高跳	決勝	11名	11:20	11:30

《 投 擲 競 技 》 会場:セカスタ(第2競技場)

1	9:30	県民スポーツ大会	男子	50歳以上	砲丸投	決勝	28名	8:50	9:00
2	10:30	パラスポーツ大会	男女		砲丸投	決勝	2名 男1名 女1名	9:50	10:00
3	11:00	県民スポーツ大会	女子		砲丸投	決勝	17名	10:20	10:30
4	12:30	県民スポーツ大会	男子	30～39歳	砲丸投	決勝	17名	11:50	12:00
5	13:30	県民スポーツ大会	男子	40～49歳	砲丸投	決勝	28名	12:50	13:00

《 投 擲 競 技 》 会場:セカスタ(第2競技場)

1	9:30	パラスポーツ大会	男女	ジャベリックスロー	決勝	10名 男4名 女6名	8:50	9:00
2	11:00	パラスポーツ大会	男女	ソフトボール投げ	決勝	19名 男14名 女5名	10:20	10:30
3	13:30	パラスポーツ大会	男女	ビーンバック	決勝	13名 男9名 女4名	12:50	13:00

※ 県民スポーツ大会・パラスポーツ大会の投擲競技の会場は セカスタ(第2競技場) で行う

競 技 上 の 注 意

* 選手招集について

- (1) トラック予選、決勝、フィールド競技はすべて競技開始40分前よりはじめ、30分前で締切る。トラック競技者は招集場所にてアスリートビブス(腰)を受け取り右腰やや後方につける。招集完了時刻にいなかった選手は棄権したものとして処理する。
- (2) 棄権する場合は招集所に連絡すること。招集所には必ず本人が来て点呼を受けること。

* リレーのオーダー用紙提出について

- (1) 男子のリレーは年齢順(多い者から)にオーダーを編成する。年齢区分を間違えないようにすること。
- (2) 市より2チーム出場しているところは、A、Bチームを明確にすること。
- (3) リレーのオーダー用紙は、招集所にて競技者係より受け取り、予選、決勝共提出すること。
- (4) 提出は招集完了前の1時間、なお、招集時間内に招集も受けてください。

* その他

- (1) 予選において8人又は8チーム以下の場合は予選を行わず番組編成し決勝の時間に実施する。
- (2) トラックのトップエイト選考は、同記録が多数の場合は抽選により決定する。
- (3) アスリートビブス(ビブス)は、白布の上部に市町番号及び市町名を記入する。2枚用意し必ず胸部、脊部につける。
市町番号は別紙のとおりとし、アスリートビブス(ビブス)が無い場合は出場を認めない。
- (4) スパイクシューズのピンの使用はトラック種目9mm以下、フィールド種目12mm以下とする。

砲丸の重さは次のとおりとする。

- 6.0kg …… 男子40歳未満
- 4.0kg …… 男子50歳以上、50歳未満
- 2.721kg …… 女 子

※ 市町番号

番号	市町名	番号	市町名	番号	市町名	番号	市町名
1	鳥 栖 市	6	唐 津 市	11	吉野ヶ里町	16	有 田 町
2	神 埼 市	7	伊 万 里 市	12	基 山 町	17	大 町 町
3	佐 賀 市	8	武 雄 市	13	み や き 町	18	江 北 町
4	小 城 市	9	嬉 野 市	14	上 峰 町	19	白 石 町
5	多 久 市	10	鹿 島 市	15	玄 海 町	20	太 良 町

第2回 パラスポーツ大会～みんなの大会～ 陸上競技実施要領

1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずるものとする。ほか、この要領に定めるところによる。

この実施要領をよく読んで大会に出場してください。

2 競走方法

(1)トラック競技の走路準、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。

※ 競争競技

(2)競走競技で棄権がある場合は、そのレーンを空けて実施する。

(3)スタート合図はイングリッシュコールとする。

(4)50m競走についてはスタンディングスタートのみとする。また、その場合、スターティング・ブロックを使用することはできない。

(5)100m・200m・400m競走においては、クラウチングスタートをしなくてもよく、又、スターティング・ブロックを使用しなくてもよい。ただし、スタンディングスタートの場合、スターティング・ブロックを使用することは出来ない。

(6)セパレート・レーンで行う種目は、50m・100m・200m・400m競走とする。視覚障がい者(障がい区分24)の50m競走は、オープンレーンで1名ずつ行う。

(7)800m競走は、第1曲走路のブレイクラインまでセパレートレーンで行う。

(8)競走競技で他の競技者を妨害した場合は、その競技者を失格とする。なお、この場合も再レースは行わずレースは成立したものとする。

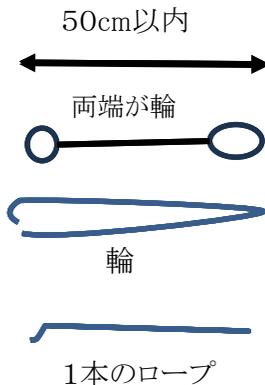
(9)セパレートレーンで行う視覚障がい者のトラック競技で伴走者を希望する競技者には、1競技者に2レーンを割当て、伴走者も2レーンの中に入っていないなければならない。

(10)視覚障がい部門の競走競技では、障がい区分24に属する競技者の50m競走を除き、次の範囲で伴走者を認める。ただし、伴走者の反則は競技者の反則となるので注意すること。

① 伴走者は1人とする。ただし、フィニッシュラインの50m手前までならば1回に限り交代してもよい。

② 伴走者は競技者を引っ張ったり、押して前進させる等推進を助けるようなことはしてはならない。ただし、視覚と聴覚の障害が重複している競技者の伴走者は、スタートのピストル音を競技者に伝えるため、ピストル音の直後のみ競技者を引っ張ったり、押ししたりする行為は認められる。なお、この行為は助力とはみなさないが、スタートのピストル音を競技者に伝えた後に競技者を引っ張るなどの推進を助ける行為をした場合は助力となる。

- ③ 競技者と伴走者は非伸縮性の50cm以内の紐などを使ったガイド用のロープ(以下ガイドロープ)を持ち競技する。ガイドロープは以下の図のいずれかに該当する形状のもので、最も伸ばした状態におけるガイドロープ両端の最大長は50cm以下とする。競技者と伴走者はスタートからゴールまでガイドロープを離してはならない。ただし、転倒などにより一時的にガイドロープを離す事態が生じた場合は除く。



- * 50cm以上のガイドロープの両端を手巻きに巻くような方法は不可
- * 持ちやすいようにロープの両端に結び目を作るなどは、結び目を含んだ両端の長さが50cm以内であれば可

伴走者は口頭または選手に触れるなどの方法により、競技者に必要な情報(タイム、周回数、ペースなど)を伝えることができる。尚、その際にガイドロープ以外の道具を用いてはならない。

- (11) 視覚障がい部門の障がい区分24に属する競技者の50m競走は、音源誘導者がフィニッシュライン後方から鳴らす音源によって競技者を誘導するものとし、その音源は、ハンドマイクに収納した音源とする。なお、視覚と聴覚の障がい重複している競技者は音源を使わずに伴走者との競技を認める。伴走者については、視覚部門の競争競技における伴走者に準ずる。

1名ずつによるタイムレースとし、8レーンの幅を使用する。

安全管理上やむを得ない場合は、審判員などが声や競技者の身体にふれるなどによって方向を指示した場合でも競技は成立するものとする。同時に危険回避のため、音源誘導者がハンドマイクにより方向を指示した場合も、競技は成立するものとする。

- (12) 聴覚、平衡、音声、言語、そしゃく機能障がい者(以下「聴覚」という)部門のスタートは、次のように行う。また光刺激スタート発信装置を使用してもよい。

- ① 競技者全員が見えやすい位置とする。
- ② 100m・200m競争については、いすに座った姿勢で、50m・800m・1500mについては、立った姿勢でピストルを発射する。
- ③ 「On your marks :オン・ユア・マークス」(意味:位置について)でピストルを肩口に移動し、一方の手でブロックへの移動を促す。
- ④ 「Set : セット」(意味:用意)でピストルを保持した腕を地面と平行に前方に伸ばす。
- ⑤ 上記の姿勢を保持したまま、ピストルを発射する。
- ⑥ 視覚と聴覚の障がい重複し、クラウチングスタートの「Set : セット」の合図が聴こえない競技者が視覚部門に出場する場合は、スタート時に競技者と伴走者が静止する必要があるため、伴走者とは別に介助者がクラウチングスタートの「Set : セット」のタイミングを競技者に伝えなければならない。介助者が競技者へ伝える方法は、介助者が競技者に触れるなどの方法を用いるが、これは助力とはみなさない。なお、スタンディングスタートの場合は伴走者が「Set : セット」のタイミングを伝えるものとする。

- (13) トラック競技に関して、スタートは、1回制とし、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。

- (14) 競技者のスタートにおいて、出発合図後、1分を経過しても走り出さない競技者は失格とする。

- (15) 車いす及び電動車いす使用者の順位は、胴体(トルソー)ではなく、先に到達した車輪の車軸がフィニッシュラインに到達したことで決める。

- (16) 50mで使用する車いすは日常生活用とする。

- (17) 車いす100m以上の競走競走に出場する競技者は、ヘルメットを使用して競技しなければならない。

- (18) 車いす800m以上の競走競走に出場する競技者は、競技用車いす(レーサー)を使用しなければならない。

- (19) 車いすは、身体の一部であり、その接地面がスタートラインや左側のラインに触れてはならない。

- (20) 車いすが完全に身体から離れ、レーン外に出た場合には他の競技者を妨害しなければ失格としない。

【注】 車いすが競技者から離れ、フィニッシュラインを通過してしまった場合は失格とする。

(21) 写真判定装置を使用するので、競技者は指定されたアスリートビブス(腰)を指定された場所につける。

※ スラローム

(22) 旗門の幅は1.27m～1.3m、距離は30mとする。競技は原則として2人の競走とし、所要時間によって順位を決定する。走路は2及び6レーン、または3及び7レーンを使用する。

(23) 白色の旗門は前進、赤色の旗門は後進によって通過しなければならない。

(24) スタートラインより6m地点の前進周回旗門と18m地点の後進周回旗門の通過方法は、次のおりとする。

① 1本目の旗門を右回り(左回り)で1周した後、2本目の旗門を左回り(右回り)で1周し通過する。

(25) 旗門を倒した場合は、1本につき所要時間に5秒を加算する。ただし、倒した旗門に再び触れた場合は違反としない。また、倒れた旗門が転がりその勢いで他の旗門を倒した場合は不可抗力による旗門の転倒とみなし、追加のタイム加算はしない。

(26) 通過の方法を間違えたままフィニッシュした場合は失格とする。ただしフィニッシュラインに到達するまでならばやり直すことができる。その場合の反則や所要時間はすべての所要時間に含まれる。

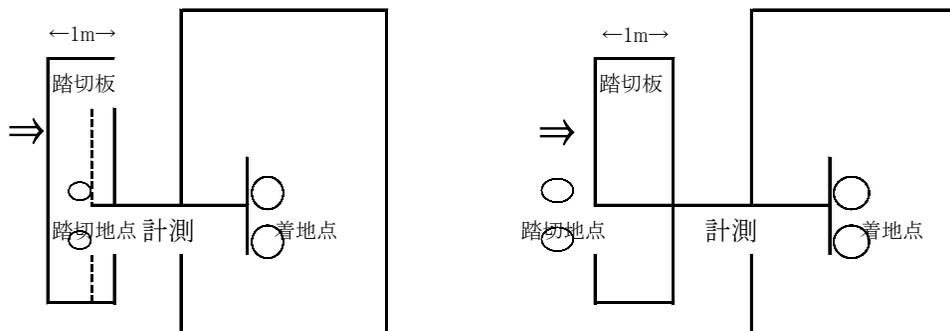
(27) スタートとフィニッシュは競走競技と同様に扱う。計時は手動とする。

※ 跳躍競技

(28) フィールド競技(投跳競技)の試技は、走高跳を除き、3回までとする。

(29) 立幅跳の踏切りは、両足同時に踏切るものとする。制限時間は1分とする。

(30) 視覚障がい部門の走幅跳の踏切板の幅は長さ1mとする。また計測は、踏み切った場所の最も砂場に近い地点から踏み切り板前縁との平行線を引き、その平行線と着地点との最短距離で行う。ただし、踏切板(地域)の手前で踏み切った場合には、着地点と踏切板(地域)の砂場より最も遠い方までの最短距離を計測する。



(31) 視覚障がい者(障がい区分24・25)の立幅跳、走幅跳及び投てき競技については、必要に応じて競技役員又は競技補助員が方向を指示する。

(32) 視覚障がい部門の立幅跳における踏切線の確認は角材などの側面を踏切線の砂場側に合わせて置き、つま先をその角材に当てるようにして行う。その際、介助者が競技者の身体に触れて方向の確認を援助することは認められるが、跳躍方向から声や手拍きなどで方向を示すことは認められない。

(33) 視覚障がい部門の走高跳は、助走してもしなくてもよいが、片足で踏み切らなければならない。

(34) 視覚障がい部門の走幅跳のみ、助走方向や踏切地点を知らせるために声や音源による援助は認められる。ただし、選手への助力とみなされる行為(伴走等)や審判運営の妨げとなる位置(踏切エリア・砂場等)での援助や行為は認められない。

(35) 走高跳は、あらかじめ設定された高さから始める。(バーの上げ幅は、一律2cmとする。)

区分	性別	高さ	性別	高さ
区分2	男子	140cm	女子	120cm
区分3	男子	140cm	女子	120cm
区分25	男子	115cm	女子	100cm
区分26	男子	130cm	女子	100cm
区分27	男子	100cm	女子	100cm

※ 投てき競技

- (36) 投てきに使用する競技用具、主催者が用意したものを使用する。
- (37) 各競技者は、3回までの試技が許される。車いす使用者については、原則3回連続で投げる者とする。
車いす使用者以外の競技者の投てきにおいても、運営上3回連続した方が良いと判断した場合には連投しても差支えない。なお、3回連続して投げる場合の1回の試技時間は、用器具を手渡した時から1分とする。
視覚部門の投てき競技では、投てき方向を知らせるために試技に入る前に限り声や音源、競技者の身体に触れることによる援助は認められる。

(38) ビーンバック投げに使用するビーンバックの構造は、次のとおりとする。

- ① 材料:12cm×12cmの布または適当なものの袋に、よく乾燥した大豆等を入れたもの
- ② 重量:150g ・ 製造誤差:10%以内
- ③ ビーンバック投は、原則として円盤投のサークルを使用し、有効試技は90度の角度をなすラインの内側に落下したものとする。
- ④ ビーンバック投は、ビーンバックを足にのせてけり出すことなども含めて投げ方は自由である。

(39) 車いす及び電動車いす使用者の投てきは次によりおこなわなければならない。

- ① 助走することなく、臀部がシートに着いた姿勢から投げ始めなければならない。
- ② 試技が完全に終了するまでは、臀部がシートから離れてはならない
- ③ 車いす等を固定する場合は、地面との接地面がサークル及びやり投げ助走路スターティングラインの内側から出てはならない。
- ④ 地面に足をつけて投げて良い。ただし、サークル及びやり投げ助走路スターティングラインの内側から出てはならない。

(40) ソフトボール投は、やり投の規則に準じて行うが投げ方は自由である。

(41) ソフトボール投に使用するボールは、日本ソフトボール協会公認の「協会3号ボール(ゴム球)」とする。

(42) ジャベリックスローで使用する用具は、男女ともターボジャブとする。
(本体:ポリエチレン製、穂先:エラストマー製、長さ:約70cm、重量:300g)とする。

砲丸の重量		単位:Kg			
障害区分		男子		女子	
		1部	2部	1部	2部
肢1	1				
	4				
	5				
	6	4	2.721	2.721	2.721
	7				
	8				
肢2	9				
	12	2.721	2.721	2.721	2.721
	13				
	14	4	2.721	2.721	2.721
肢3	15				
	19				
	20	2.721	2.721	2.721	2.721
	21				
視	22				
	24	4	2.721	2.721	2.721
聴	25				
	26	4	2.721	2.721	2.721

※ その他

- (43) 視覚障がい部門の障がい区分24に属する競技者は、競技エリアで光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着しなければならない。
アイマスクなどを外すことができるのは、審判員が認めた時だけであり、無断で外す(アイマスクなどを顔から離したりめくったりする行為を含む)ことは認められない。
審判員が意図的に外したと認めた場合は失格とすることがある。なお、転倒や接触などの意図しない理由でアイマスクなどが外れた場合は、すみやかに装着し直すものとし、失格としない。

★ 競技場エリアとは、競走競技では(トラックの走路)を跳躍競技では(助走路及び砂場)、投てき競技では(助走路及びサークル)を指す。

使用するアイマスクなどは選手招集の際に光が漏れないか審判員などの確認を受けなければならない。

- (44) アイシェードはフェイスパット(顔に接する部分)のすべてが顔と密着し、ゴムバンドなどを頭の後ろにかけて固定するタイプのもので、サングラスタイプは認めない。
- (45) 競技の際に使用する靴は、日本陸上競技連盟規則の定めるところによる。
競技用のスパイクの長さは、9mm以下、走高跳、ソフトボール投げジャベリックスローは12mm以下とする。
なお、危険(けが)の予防上、裸足での競技参加は認めない。
- (46) 競走競技及び跳躍競技における杖、歩行器の使用は認めない。

3 介助者

- (1) 障がいの種類や程度等の理由により介助者による補助や指示が必要な競技者については、申込時に入場申請ができるようにする。
- (2) 申請対象となる障がい区分は、原則として、区分番号10、16、17、23、24、25、場合によっては区分番号18、27、であり、いずれの場合でも申込時に理由を添えた申請が必要である。
また、特例として重複障がいにより上記区分に該当する障がいがあるが、上記以外の区分で参加申込みをする場合は、事前申請により介助者の同伴が認められる。
- (3) 大会当日の申請は、当日急遽、介助者を要する事情が発生した場合は『介助許可証(ビブス)交付申請書』を申請書提出所へ提出することができる。ただし、初参加のため『不安がっている』、『緊張している』等、障がいの種類や程度によらない理由での申請は認めない。
- (4) 介助者は、衣服の脱着や移動などにおいて競技者が困難を要する事柄に限り介助することができる。
- (5) 介助者及び通訳者は、競技に関するいかなる指導・助言もしてはならない。助力行為が発覚した場合は、(公財)日本陸上競技連盟規則第144条第2項により失格となる。ただし、競技の準備や待機などを促す指示は助力とされない。
- (6) 介助者及び伴走者は、カメラ・ビデオ・携帯電話もしくは類似の機器等を競技エリア内で所持または使用することはできない。また、競技に関係のない物についても持ち込むことができない。
- (7) 視覚と聴覚の障がい重複している競技者が出場する場合には、事前の入場許可申請を行うことにより、介助者とは別に通訳者1名を競技エリアに同伴することができる。
- (8) 視覚と聴覚の障がい重複している競技者が視覚部門に出場する場合、試技に入る前に限り、介助者または通訳者(以下、介助者)は審判員の競技開始などの旗の合図を競技者に伝えることができる。介助者などが競技者へ伝える方法は、介助者などが競技者に触れるなどの方法を用いるが、これは助力とはみなさない。なお、介助者などは競技者に審判員の旗の合図を伝えた後は、速やかに競技エリア外に移動しなければならない。

4 競技開始時間 8:00 受付開始 9:00 競技開始

5 招集

- (1) 招集場所 SAGAサンライズパークSAGAスタジアム北側、陸上競技場第4ゲート(雨天走路下)付近に設置する。
- (2) 招集時刻は、その競技種目の開始時刻を基準として、次のとおりとする。
なお、個人の呼び出しは一切行わない

招集開始時刻	招集完了時刻
(点呼開始)	(点呼終了)
競技開始40分前	競技開始30分前

- (3) 代理人による点呼は認めない。
- (4) 招集完了時刻に遅れた選手は棄権したものとみなす。
- (5) 点呼を受けた選手は競技役員の指示に従い、整列して誘導を待つ。
- (6) 伴走者の紐は招集所で長さを確認する。
- (7) 障がい区分24の競技者が装着するアイマスクは、招集所において光が漏れないか競技役員が確認するとともに、不正なアイマスクを持ち込まないように手荷物検査を行う場合がある。
- (8) 2種目同時出場する場合において、1種目目の競技終了時刻から2種目目の招集完了時刻までが短い選手は、招集所で申し出るにより、2種目目の招集を完了したものとする。

6 車いすの検査(投てき台含む)

- (1) 車いすを使用する競技者は、競技に出場する際に車いすの検査を受け「車いす検査済証」の交付を受けなければならない。
- (2) 車いす検査は、車いす検査所において競技開始予定時刻60分前から開始する。
- (3) 一度不合格であった場合でも招集完了時刻までに修理・改善すれば再検査を受けることができる。
(時間内に検査に合格しなければ競技に出場することはできない。)

7 その他

- (1) 選手は、あらかじめ競技場所を確認しておくこと。
- (2) 競技中におきる選手の事故については、主催者は応急処置以外の責任を負わない。
- (3) 競技にあたっては、競技服装(ランニングシャツ、トレーニングシャツ等)を着用し、その競技服装の上着の胸部にナンバーカード(ゼッケン)を着用すること。また、招集受付にて、腰ゼッケンを必ず受け取ること。
- (4) 選手は、競技の組合せ等について異議を申し立てることはできない。
- (5) 少雨の場合は決行するが、荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において、大会当日の朝6:00に佐賀県スポーツ課のFacebook(@pref.saga.sports)においてお知らせする。
- (6) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、競技方法が変更となる場合がある。

8 表彰

- (1) 全員に記録証を発行する。
- (2) 大会新記録を出した競技者、又は大会記録(これまでに県記録がない区分で出した記録)で全国記録を更新した競技者に賞状を授与する。

アスリートビブス(ビブス)のアンダーライン(数字は黒)



視覚障がい＝赤 ・ 聴覚障がい＝青 ・ 知的障がい＝桃
内部障がい＝黄 ・ 精神障がい＝黄緑 ・ 肢体不自由＝黒